資料　９

介護サービス過不足状況調査の結果について

出雲市では、第９期介護保険事業計画の策定に向けて、市内の介護サービス供給状況の実態把握を行い、今後の介護サービス基盤の整備について検討するために、居宅介護支援事業所及び高齢者あんしん支援センターを対象にアンケート調査を実施しました。

当該アンケートの結果を踏まえ、今後は介護保険運営協議会において議論をいただきながら第９期介護保険事業計画の策定を進めていきます。

≪調査概要≫

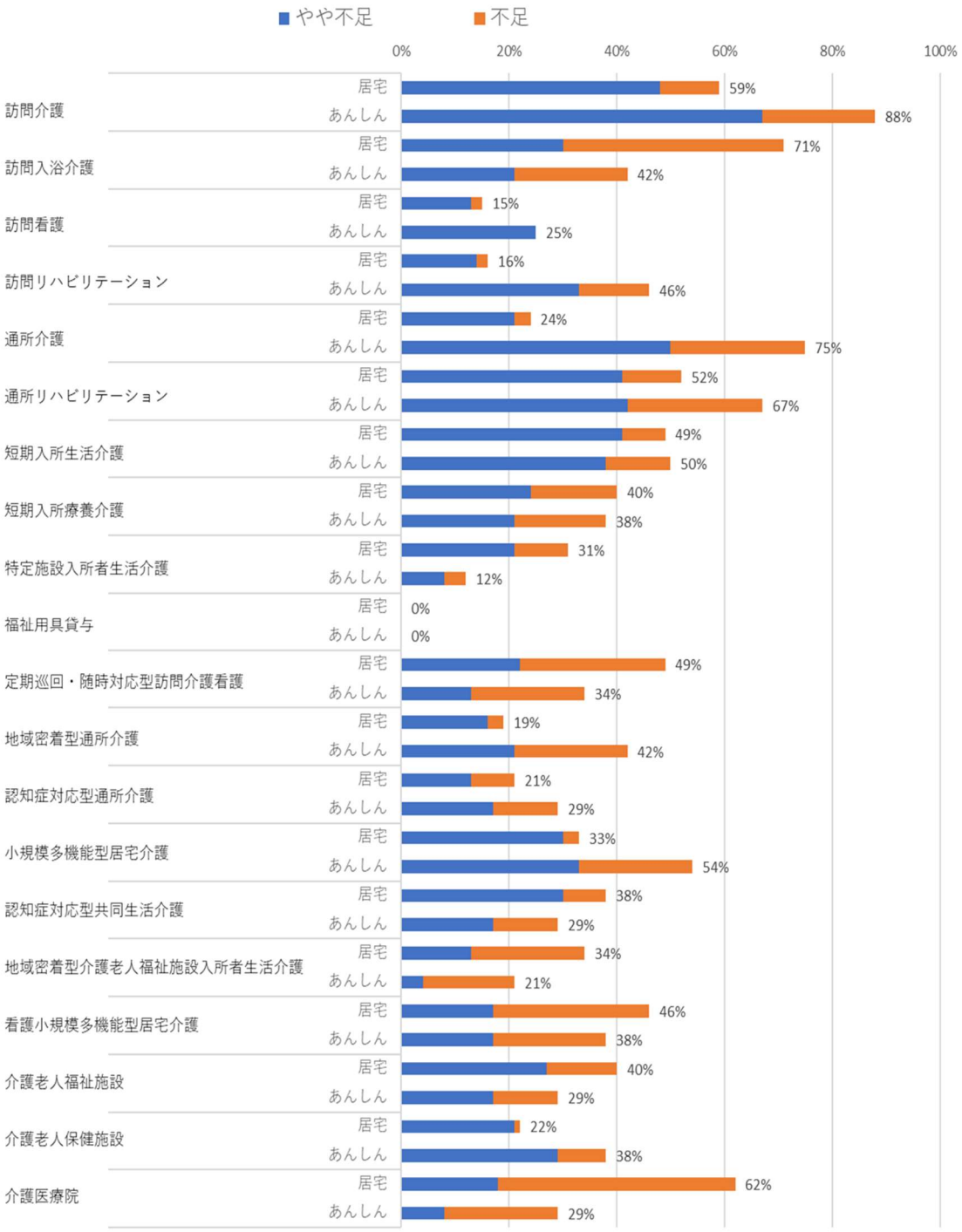
１	調査実施期間	令和５年４月２０日～令和５年５月１２日
２	調査対象事業所	居宅介護支援事業所（休止事業所を除く６３事業所） 高齢者あんしん支援センター（２４人）
３	調査方法	島根電子申請システムにより回答
４	回答数	居宅介護支援事業所　　６３事業所 高齢者あんしん支援センター　２４人
５	回答率	１００％
６	調査結果	別添のとおり

ケアマネジャーが感じる各介護サービスの過不足の状況について

市内居宅介護支援事業所及び出雲高齢者あんしん支援センターに対し、サービス調整をする際に感じている各介護サービス供給の過不足の現状について確認しました。

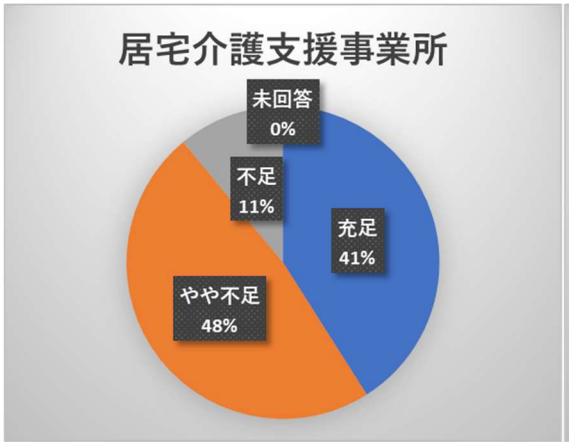
サービス種類		回答事業所	充足		やや不足		不足		未回答	
			回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
居宅サービス	訪問介護	居宅	26	41%	30	48%	7	11%	0	0%
		あんしん	3	12%	16	67%	5	21%	0	0%
	訪問入浴介護	居宅	15	24%	19	30%	26	41%	3	5%
		あんしん	4	17%	5	21%	5	21%	10	41%
	訪問看護	居宅	53	84%	8	13%	1	2%	1	1%
		あんしん	16	67%	6	25%	0	0%	2	8%
	訪問リハビリテーション	居宅	52	83%	9	14%	1	2%	1	1%
		あんしん	11	46%	8	33%	3	13%	2	8%
	通所介護	居宅	47	75%	13	21%	2	3%	1	1%
		あんしん	5	21%	12	50%	6	25%	1	4%
	通所リハビリテーション	居宅	29	46%	26	41%	7	11%	1	2%
		あんしん	5	21%	10	42%	6	25%	3	12%
	短期入所生活介護	居宅	32	51%	26	41%	5	8%	0	0%
		あんしん	10	42%	9	38%	3	12%	2	8%
	短期入所療養介護	居宅	33	52%	15	24%	10	16%	5	8%
		あんしん	4	17%	5	21%	4	17%	11	45%
	特定施設入所者生活介護	居宅	40	63%	13	21%	6	10%	4	6%
		あんしん	11	46%	2	8%	1	4%	10	42%
	福祉用具貸与	居宅	62	98%	0	0%	0	0%	1	2%
		あんしん	23	96%	0	0%	0	0%	1	4%
地域密着型サービス	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	居宅	27	43%	14	22%	17	27%	5	8%
		あんしん	5	21%	3	13%	5	21%	11	45%
	地域密着型通所介護	居宅	50	79%	10	16%	2	3%	1	2%
		あんしん	7	29%	5	21%	5	21%	7	29%
	認知症対応型通所介護	居宅	45	71%	8	13%	5	8%	5	8%
		あんしん	7	29%	4	17%	3	12%	10	42%
	小規模多機能型居宅介護	居宅	39	62%	19	30%	2	3%	3	5%
		あんしん	7	29%	8	33%	5	21%	4	17%
	認知症対応型共同生活介護	居宅	38	60%	19	30%	5	8%	1	2%
		あんしん	9	38%	4	17%	3	12%	8	33%
	地域密着型介護老人福祉施設入所者	居宅	39	62%	8	13%	13	21%	3	4%
		あんしん	7	29%	1	4%	4	17%	12	50%
	看護小規模多機能型居宅介護	居宅	29	46%	11	17%	18	29%	5	8%
		あんしん	6	25%	4	17%	5	21%	9	37%
施設	介護老人福祉施設	居宅	35	55%	17	27%	8	13%	3	5%
		あんしん	9	38%	4	17%	3	12%	8	33%
	介護老人保健施設	居宅	47	75%	13	21%	1	1%	2	3%
		あんしん	8	33%	7	29%	2	9%	7	29%
	介護医療院	居宅	16	25%	11	18%	28	44%	8	13%
		あんしん	5	21%	2	8%	5	21%	12	50%

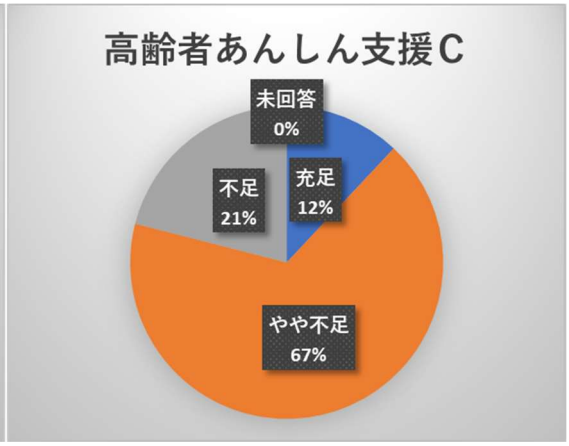
各介護サービスで「やや不足」「不足」と回答した割合



各介護サービスの過不足についての意見

●訪問介護





○サービス供給の過不足についての意見

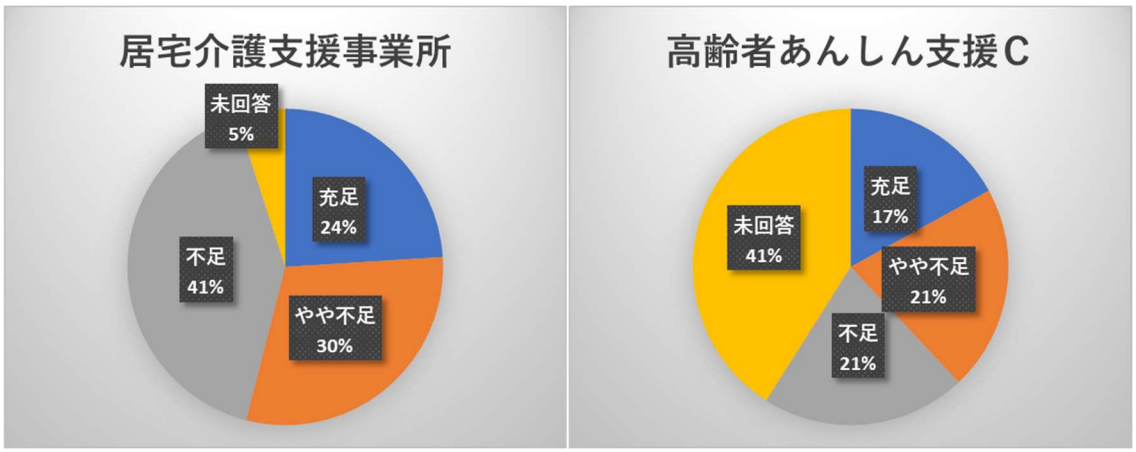
【居宅介護支援事業所】

圏域	主な意見等
第一	・上津地区が不足している。
第三	・鳶巣地区で入りにくいことがある。
南	・朝山、所原、乙立、稗原、野尻などの山間地が不足している。
河南	・神西地区が不足でサービス事業所が選択できないことがある。 ・神門、知井宮で事業所はあるが、人材不足を理由に断られることがある。
平田	・北部の海岸線沿岸部に受入れをしてくれる事業所が少ない。
旭丘	・沿岸部や伊野が不足を感じる。
光	・沿岸部になると事業所が少なく、訪問に時間がかかるため受入れをしてもらえない。
佐田	・やまゆり園しかないため調整が難しい。 ・山間部は距離があり移動時間が長くなり断られることが多い。
多伎	・事業所数が少なく、時間帯によってサービス調整が難しいことがある。 ・現在は何とか受けてもらえているが、今後の受け入れが不安。特に、口田儀、奥田儀。
大社	・日御碕、鵜鷺は訪問できる事業所が限られており調整が難しい。 ・高齢化が進み地域力が低下しインフォーマル支援が出来にくい。 ・大社地域は、ヘルパー事業所が少ない。
斐川西	・郊外になると訪問してもらえない。
斐川東	
全体	・ヘルパーの高齢化がみられており、身体介護などの依頼時に受けてもらえない事がある。 ・地区とかではなく時間帯（朝とか夕方）の訪問が難しい。 ・時間帯、曜日の希望が通りにくいことがある。 ・ヘルパーの高齢化、若いヘルパーが育ってない。 ・介護タクシーの人員が不足している。

【高齢者あんしん支援センター】

圏域	主な意見等
第一	・上津の山間部に、サービス事業所が入りにくかったり、遠方のため断られることがある。
第三	・鳶巣は訪問してもらえる事業所が少ない。 ・高浜地区の事業所は要介護の方を優先して、要支援の方は受け入れてもらえない。
南	・稗原、朝山、乙立など南部の地区は利用できる事業所が限られるため選択肢がない場合がある。
平田	・佐香地区は、事業所が近くにない。中心地から事業所が訪問に行ってもらえるが、買い物希望があると時間がかかり、季節によっては行けないところがある。
旭丘	・東、伊野地区が不足。特に伊野地区は訪問するまでの移動距離が長く、対応までに時間がかかったり、選択肢が少ない。
光	・鰐淵地区は遠方のため、選択肢が少ない。特に猪目は、事業所、希望曜日等の選択の余地なし。
佐田	・実際にサービスが利用出来ていても、事業所を選択することはほとんどできないため、事業所に対し不満があっても他の事業所に代わることはできない。利用者の希望の曜日や時間に調整できないこともある。
多伎	・多伎に事業所がない。湖陵か西出雲から訪問してもらわないといけないため、大田市方面に近い地域は調整に苦慮している。
大社	・日御碕、鵜鷺は、訪問してもらえるヘルパー事業所が限られている。その事業所に断られると、困ることになる。
斐川西 斐川東	・斐川地区は、事業所が少ない。職員も少ないようだ。
全体	・中心部から離れたところはヘルパーのコースが組みにくいと断られるケースが多い。 ・曜日、時間の希望指定があると対応可能な事業所が少なくなる。時間と曜日に折り合いをつけて何とか調整している。 ・訪問介護は、全地区的に不足していると感じる。

●訪問入浴介護



○サービス供給の過不足についての意見

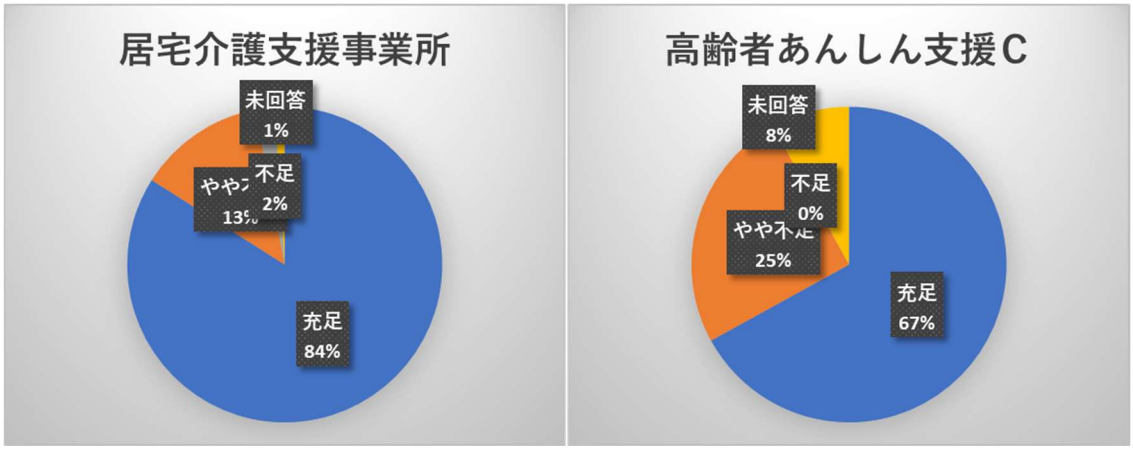
【居宅介護支援事業所】

圏域	主な意見等
全体	・出雲市全域で事業所が少ない。 ・山間部や沿岸部などは移動距離が長く、サービスが入らない。 ・入浴は週２回の保清が必要かと思うが、週１回導入がやっとである。 ・サービスを提供する機会はそれほど多くないが、いざ手配しようとする時に、市内の事業所は空きがない。 ・入浴はデイケア、デイサービスの利用者が増え、事業所が減ったと思うが、特に癌の末期の利用者の希望があっても空きがない状態。 ・絶対数が少ないので、松江の事業所を利用している。 ・どうしても訪問入浴でないといけない方以外は代替サービスを利用している。

【高齢者あんしん支援センター】

圏域	主な意見等
全体	・出雲圏域全体で事業所が少ない。 ・要支援で希望される方が少なく、過不足不明。 ・実際に繋げたことはないが、事業所選定しようにも限られている。 ・松江の事業所に頼むことがある。 ・以前は、松江市や出雲市内から訪問してもらえたが、遠方の場合は断られることがある。

●訪問看護



○サービス供給の過不足についての意見

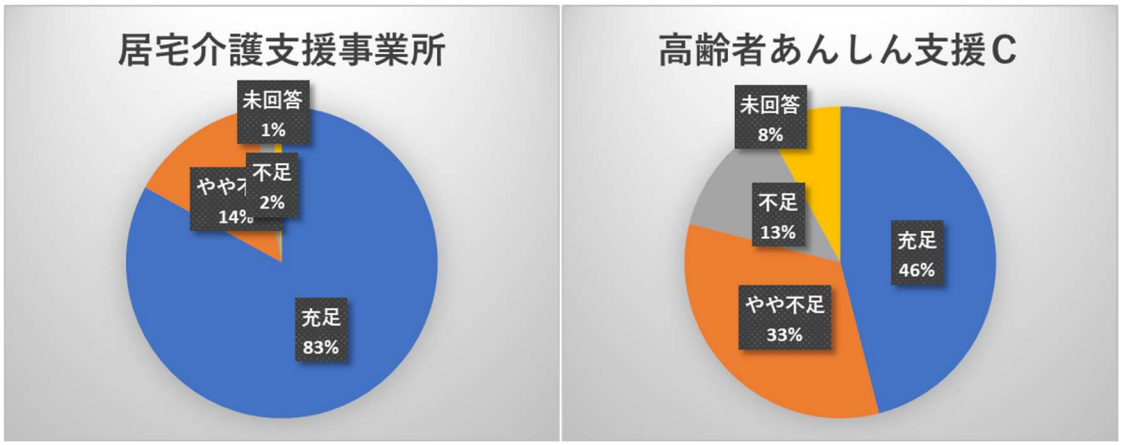
【居宅介護支援事業所】

圏域	主な意見等
南	・稗原、乙立などの山間地が不足を感じる。
平田 旭丘 光	・沿岸部など中心部から離れている所（佐香、伊野、鰐淵、北浜）は訪問に時間がかかり対応してもらえる事業所が少ない。
佐田 多伎	・事業所がなくサービス提供地域から外れていることが多いため、佐田地区、多伎地区は不足している。
大社	・日御碕、鵜鷺は特定の事業所しか受け入れてもらえない。
全体	・出雲圏域はこの近年、訪問看護事業所が増え、断られることが少なくなった。 ・利用調整できなかった事はない。 ・コロナ感染した方の訪問をしてくれない事業所もあった。 ・セラピストが所属している事業所が少ない。

【高齢者あんしん支援センター】

圏域	主な意見等
浜山	・長浜地区の訪問看護が不足しており、旧出雲市内の訪問看護に頼んでいる。特に外園は遠方のため、断られることがある。
佐田 多伎	・佐田・多伎の地域によっては、他市からのサービスを利用されている方もおり、市内の事業所だけでなく不足している。
大社	・日御碕、鵜鷺は対応してもらう枠が少なく合う時間に限りがある。
全体	・遠方でも、他地域の事業所からも訪問をしてもらえる。 ・看護師不足の理由で、断わられることもあるが、どこかの事業所に受けてもらえる。 ・山間部はサービスが入りにくい。

●訪問リハビリテーション



○サービス供給の過不足についての意見

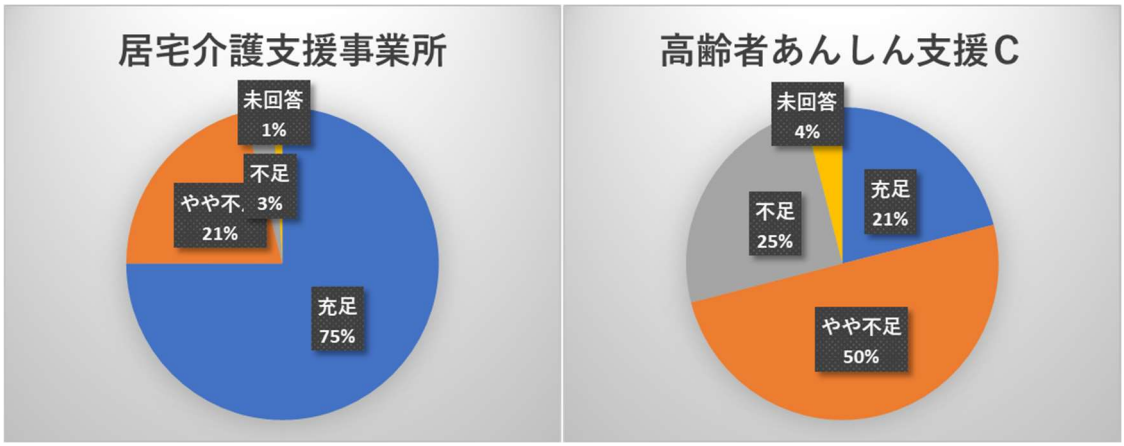
【居宅介護支援事業所】

圏域	主な意見等
南	・稗原等の山間部に行くとサービスが不足していると感じる。
平田 旭丘 光	・沿岸部など中心部から離れている所（佐香、伊野、鰐淵、北浜）は訪問に時間がかかり対応してもらえる事業所が少ない。
佐田 多伎	・事業所がなくサービス提供地域から外れていることが多いため、佐田地区、多伎地区は不足している。
斐川東	・斐川の東部は不足してる。
全体	・市内全域を対象とされている為、不足とは感じない。 ・ST 所属事業所が限られている。 ・事業所によって質の差があると思う。

【高齢者あんしん支援センター】

圏域	主な意見等
第三	・鳶巣地区は訪問してもらえる事業所が少ない。
浜山	・長浜地区の訪問リハビリが不足している。
南	・南地区全体的に訪問してもらえる事業所が少ない。
平田 旭丘	・伊野地域、佐香地域、東地域など、３ヶ月に１回の受診が困難で希望があってもサービスに繋がらない。
光	・平田鰐淵（猪目）地区は、利用料のほか交通費が高額。
佐田 多伎	・佐田・多伎の奥になると距離があるため、受け入れしてもらいにくい。 ・佐田・多伎の地域によっては、サービス利用が難しい場合がある。
大社	・日御碕、鵜鷺は対応してもらう枠が少なく合う時間に限りがある。 ・日御碕地区、鵜鷺地区は、利用料のほか交通費が高額。
斐川東	・斐川の東部は不足してる。
全体	・訪問リハビリは、旧出雲市内や斐川町から訪問が可能。 ・遠方の場合は交通費を請求される。そこまでして頼む方は難病がある方等で、気軽に頼むことが出来ない。 ・事業所によって質の差があると思う。

●通所介護



○サービス供給の過不足についての意見

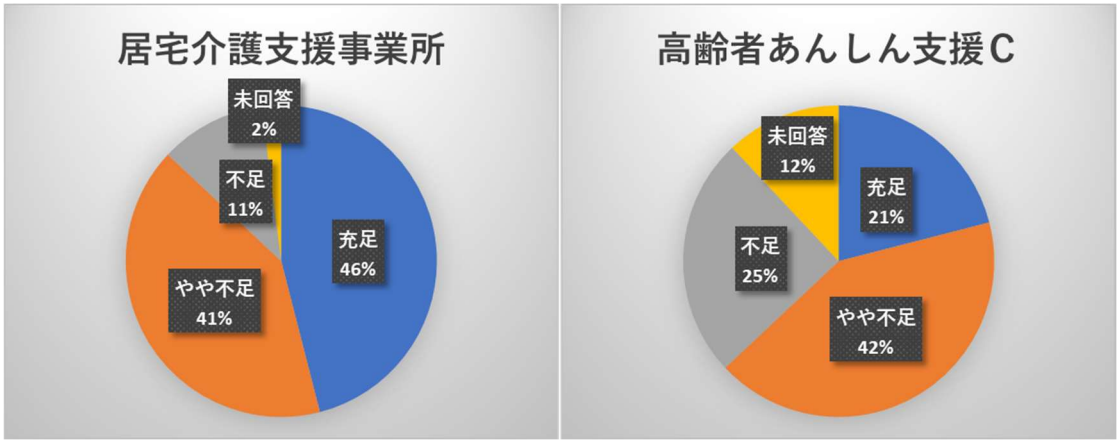
【居宅介護支援事業所】

圏域	主な意見等
南	・市外から離れると、別途送迎代がかかる為、負担になる。山間部の受け入れが難しいこともある。
平田 旭丘 光	・平田地区、光地区、旭丘地区の山間部、海岸部など、送迎に時間がかかる地区や、他の利用者がいない場合は、断られることがよくある。
大社	・日御碕近辺は、半日デイサービスを希望されても、送迎の関係で利用ができないことが多い。
全体	・山間部は送迎がしてもらえなかったり、積雪も問題がある。 ・出雲市内であれば、充足していると思う。 ・資源としては充足しているように思うが、事業所によって支援のレベルの差が大きいです。 ・機能訓練型デイサービスは事業所が少なく空きがない。 ・市内全域で半日利用のデイサービスがあれば良いと思う。

【高齢者あんしん支援センター】

圏域	主な意見等
平田 旭丘 光	・送迎の範囲が限定されている事業所が多く、沿岸部などへ送迎してもらえる事業所が限られている。
佐田 多伎 湖陵	・多伎、湖陵は充足していると思われますが、佐田は地域密着デイサービスが休止になり、やや不足していると感じます。
大社	・日御碕、鵜鷺は送迎の都合で断られる事業所が多い。
全体	・要支援ケースだと、事業所の方針で入浴を断られることが多い。 ・山間部は、行きたい事業所の送迎が出来ない等でいけない。支援だと入浴してくれるとこが少ない。

●通所リハビリテーション



○サービス供給の過不足についての意見

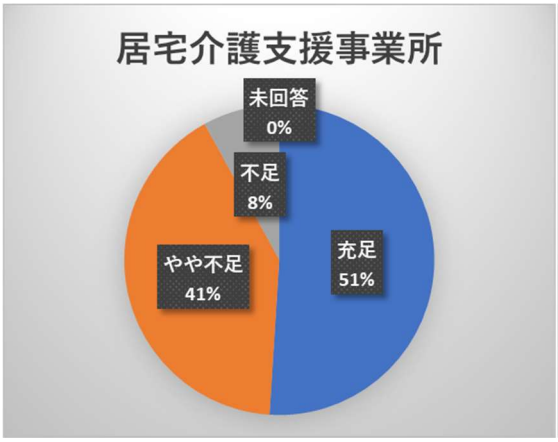
【居宅介護支援事業所】

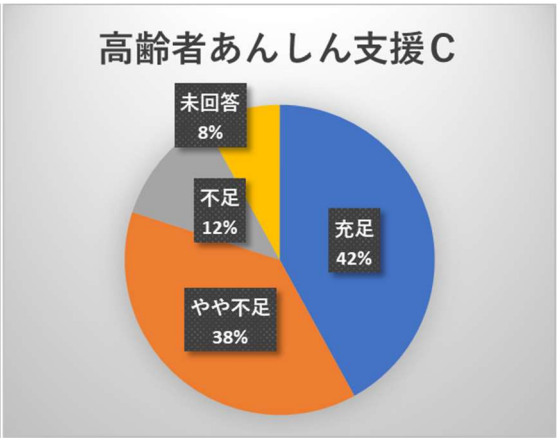
圏域	主な意見等
第一	・上津の方が通所リハビリを希望された時、遠いので迎えに行けない等の理由で利用ができないことがあった。
南	南圏域の利用者を受け入れるデイケアがない。
平田 旭丘 光	・沿岸部や東部は、送迎に時間がかかることを理由に、断われることがある。
佐田	・佐田地域への送迎が出来ないと言われ利用できる事業所がない。
大社	・日御碕・鵜鷺への送迎の対応ができない。
斐川西 斐川東	・斐川地区にない。依頼すると送迎が難しいと断られることがある。
全体	・通所リハビリテーションを利用することは出来るが、入浴ができない曜日が多い。 ・事業所数としては多くないと思うが、近年、通所介護の機能訓練のレベルが高くなっており、通所リハビリでなければならない必要性が薄れてきているように思います。差別化が必要だと感じる。 ・資源としては充足しているように思うが、事業所によって支援のレベルの差が大きいです。 ・山間部の訪問を渋られることがある。

【高齢者あんしん支援センター】

圏域	主な意見等
第三	・鳶巣は、遠方のため断られる。
浜山	・長浜地区に通所リハビリが不足している。神門に１か所あるが要介護の方が優先である。
南	・南地区全体的に訪問してもらえる事業所が少ない。
平田 旭丘 光	・送迎の範囲が限定されている事業所が多く、沿岸部などへ送迎してもらえる事業所が限られている。
佐田 多伎 湖陵	・多伎は老健たきがあるので充足しています。湖陵も、老健たきが送迎してもらえるので充足していると思われます。 ・佐田は、老健たきを含む出雲の事業所に確認をしますが送迎ができないとのことで断られます。
大社	・日御碕、鵜鷺は送迎の都合で断られる事業所が多い。
斐川西 斐川東	・通所リハビリの事業所は斐川町内にはない。希望される方は、医療で通院をされている。 ・出雲圏域の通所リハビリは、送迎はないため自分で運転をして行かれている。
全体	・要介護の利用者に重きを置いているように感じている。 ・送迎範囲外である場合は、自分で運転し利用されています。

●短期入所生活介護





○サービス供給の過不足についての意見

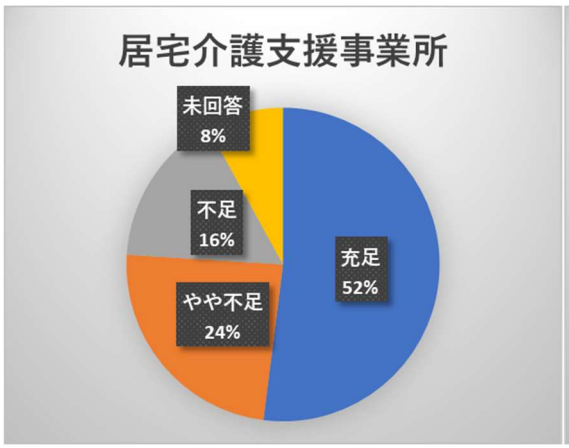
【居宅介護支援事業所】

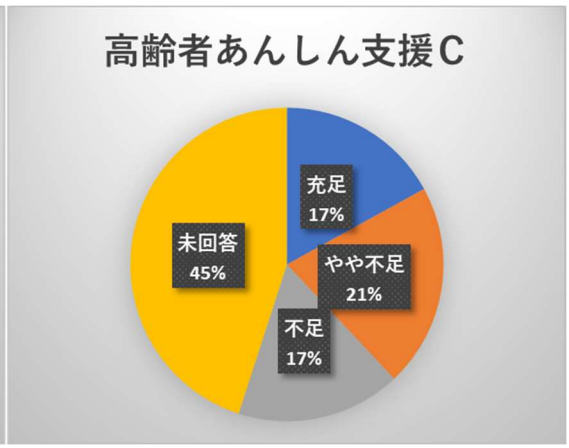
圏域	主な意見等
平田 旭丘 光	・旧平田市内には 30 床の短期入所しかなく、土日、連休等は利用人数が重なり、利用できない。
佐田	・佐田地域には、事業所がない。
斐川西 斐川東	・旧斐川町内に以前は 4 ヶ所あったが、現在は 2 ヶ所であり、定員も合わせて 20 名であるため、希望された日にちに利用できない。
全体	・多床室の短期入所はベッドが空いていても同性でないと利用できない。 ・医療依存度の高い方の受け入れ先がない。 ・リハビリをしてくれない為 ADL が低下してしまい帰宅後家族の介護負担が増強する。 ・休日とかお盆とか年末年始の受け入れが難しい。

【高齢者あんしん支援センター】

圏域	主な意見等
斐川西 斐川東	・斐川町内は 2 か所の事業所があるが、利用希望の時は常に満床にて利用ができない状態。出雲市内や平田の事業所の利用となる。
全体	・コロナ感染の影響なのか、ショートスティの希望者が少なくなっている。事業所も閉鎖するところがある。 ・受入れができても、送迎範囲外だと家族等に送迎を委ねられる。送迎が難しい場合、困ることになる。 ・要支援の方の受け入れをしない事業所がある。部屋が空いていても、介護職員が不足していると聞いている。

●短期入所療養介護





○サービス供給の過不足についての意見

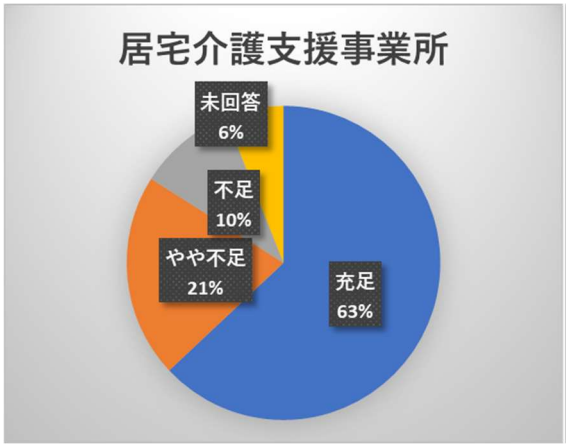
【居宅介護支援事業所】

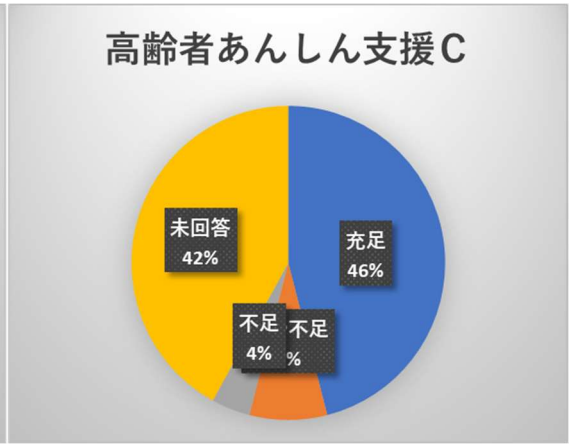
圏域	主な意見等
全体	・多床室の短期入所はベッドが空いていても同性でないと利用できない。 ・医療依存度の高い方の受け入れ先がない。 ・リハビリをしてくれない為 ADL が低下してしまい帰宅後家族の介護負担が増強する。 ・休日とかお盆とか年末年始の受け入れが難しい。

【高齢者あんしん支援センター】

圏域	主な意見等
全体	・コロナ感染の影響なのか、ショートスティの希望者が少なくなっている。事業所も閉鎖するところがある。 ・受入れができても、送迎範囲外だと家族等に送迎を委ねられる。送迎が難しい場合、困ることになる。 ・要支援の方の受け入れをしない事業所がある。部屋が空いていても、介護職員が不足していると聞いている。

●特定施設入居者生活介護





○サービス供給の過不足についての意見

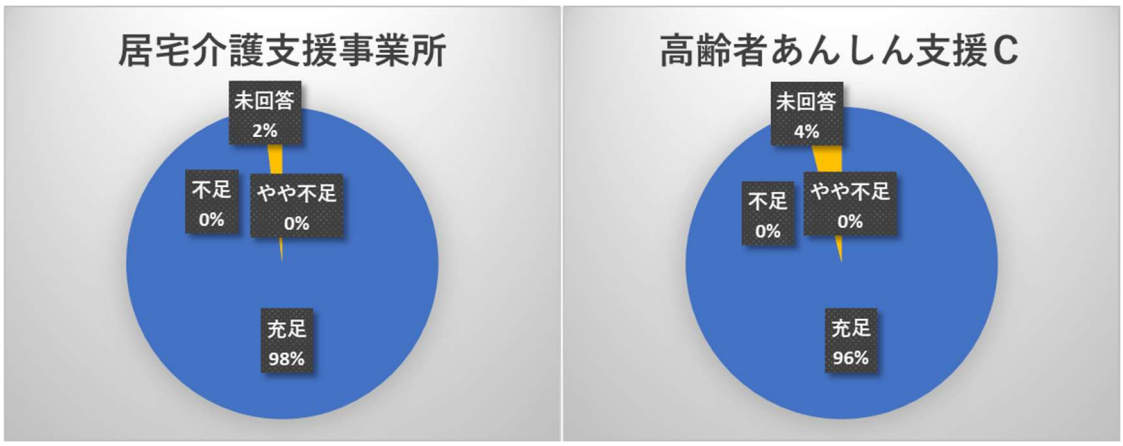
【居宅介護支援事業所】

圏域	主な意見等
全体	・利用調整できなかった事はありません。 ・あってもなくても支障を感じない。 ・医療依存度の高い方の受け入れが難しい。 ・要介護１．２の方が入居できなかった事がある。

【高齢者あんしん支援センター】

圏域	主な意見等
全体	・事業所もないが、利用する人もいない。 ・要支援ケースの状態であれば、短期入所生活介護の利用で賄える部分が大きい。特に、療養介護でなくても大丈夫なケースがほとんど。

●福祉用具貸与



○サービス供給の過不足についての意見

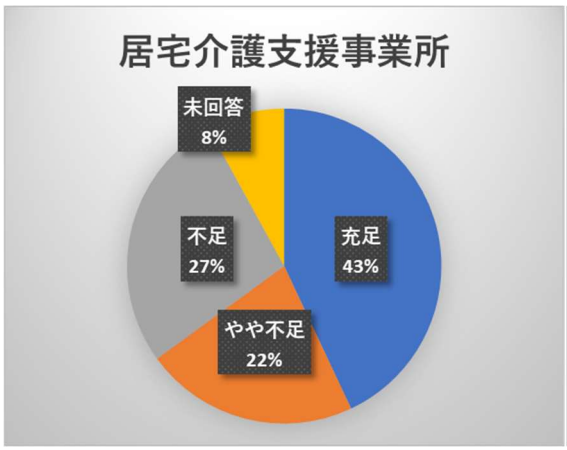
【居宅介護支援事業所】

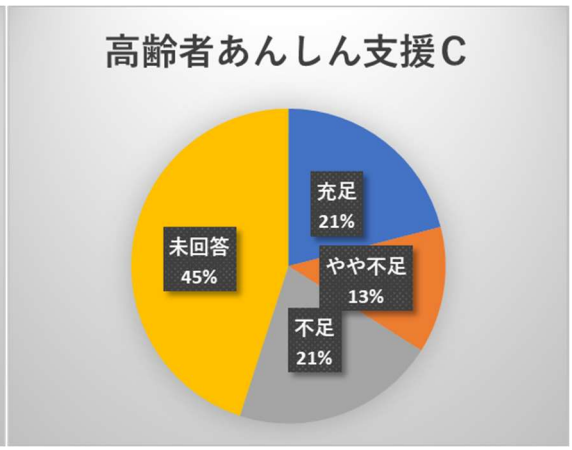
圏域	主な意見等
全体	・充足していると思われる。

【高齢者あんしん支援センター】

圏域	主な意見等
全体	・地区に事業所がなくても、市内、市外の事業所が対応している。

●定期巡回・随時対応型訪問介護看護





○サービス供給の過不足についての意見

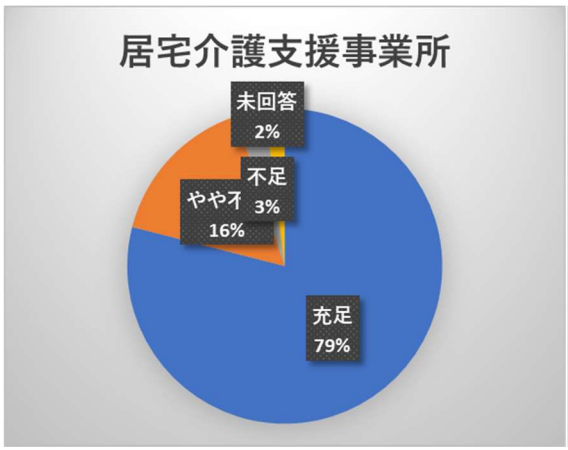
【居宅介護支援事業所】

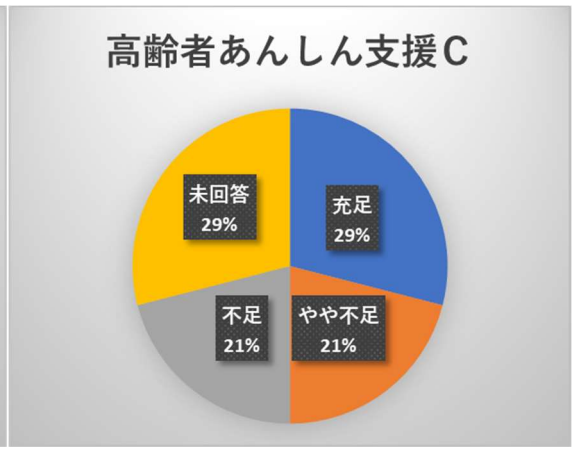
圏域	主な意見等
全体	・サービス事業所が少なく、利用の相談をしたことがあったが定員オーバーで断られた。 ・近隣に定期巡回の事業所があっても、施設内を中心の対応となっていて、受けれないとの返答あったことがある。 ・一事業所のみ利用したことがある程度だが、出雲市全域的に不足していると思う。 ・独居・高齢者世帯が増えるなか、柔軟な対応をしてくれる定期巡回があると助かる。

【高齢者あんしん支援センター】

圏域	主な意見等
全体	・サービスが必要な利用者はいると思えるが、訪問看護などのサービスで対応するので、あればよいが無くても必要性を感じない。

●地域密着型通所介護





○サービス供給の過不足についての意見

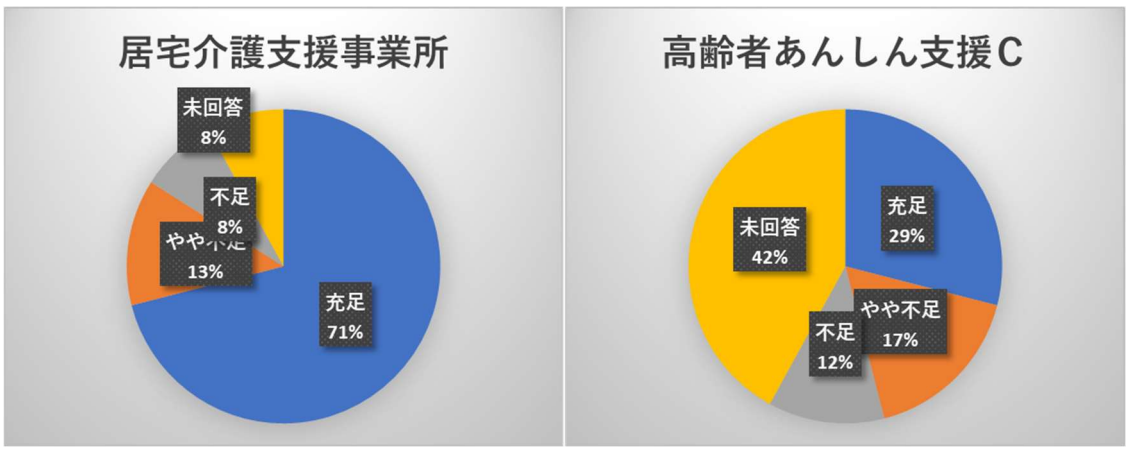
【居宅介護支援事業所】

圏域	主な意見等
平田 旭丘 光	・平田地区、光地区、旭丘地区の山間部、海岸部などは、近くに事業所がなく、送迎対応が難しい。 ・平田地域全体的に小規模デイが少なく選択の余地がない。
佐田	・佐田町内は２か所しかなく、町外は距離があり利用可能な事業所は定員が一杯で利用ができない。
大社	・日御碕地区は、不足している。
全体	・短時間利用の希望の方に対して空きがないときがある。 ・当事業所では不足を感じない。 ・利用調整できなかった事はありません。 ・市内全域で半日利用のデイサービスがあれば良いと思う。

【高齢者あんしん支援センター】

圏域	主な意見等
平田 旭丘 光	・平田全体で事業所は少ない。
佐田 多伎 湖陵	・多伎、湖陵は充足していると思われますが、佐田は地域密着デイサービスが休止になり、やや不足していると感じます。
大社	・日御碕、鵜鷺は送迎の都合で断られる事業所が多い。
全体	・希望の曜日は難しい時がある。定員の満床のことがあり空き待ちのことがある。 ・中心部から遠いところ。地域密着型に限らず、通所のサービスは全域で少ない。 ・要支援ケースだと、事業所の方針で入浴を断られることが多い。

●認知症対応型通所介護



○サービス供給の過不足についての意見

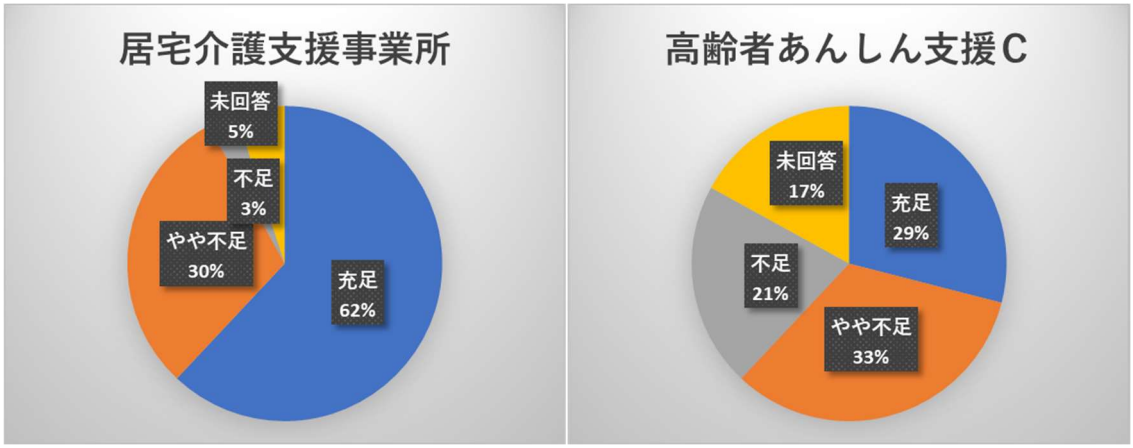
【居宅介護支援事業所】

圏域	主な意見等
全体	・市内中心部の事業所からは距離があると、送迎等の問題で利用が困難な場合が多い。 ・利用調整できなかった事はありません。一般の通所介護との明確な差別化ができている事業所が、少ないことも理由としてあると思います。 ・料金が高いので、地域密着や通所介護につなぐことが多い。 ・事業所がない地域でも、認知症の方も地域密着型通所介護や通所介護を利用されている。

【高齢者あんしん支援センター】

圏域	主な意見等
全体	・特に必要なら利用してもらうが、認知症でも普通の通所の利用者も多い。

●小規模多機能型居宅介護



○サービス供給の過不足についての意見

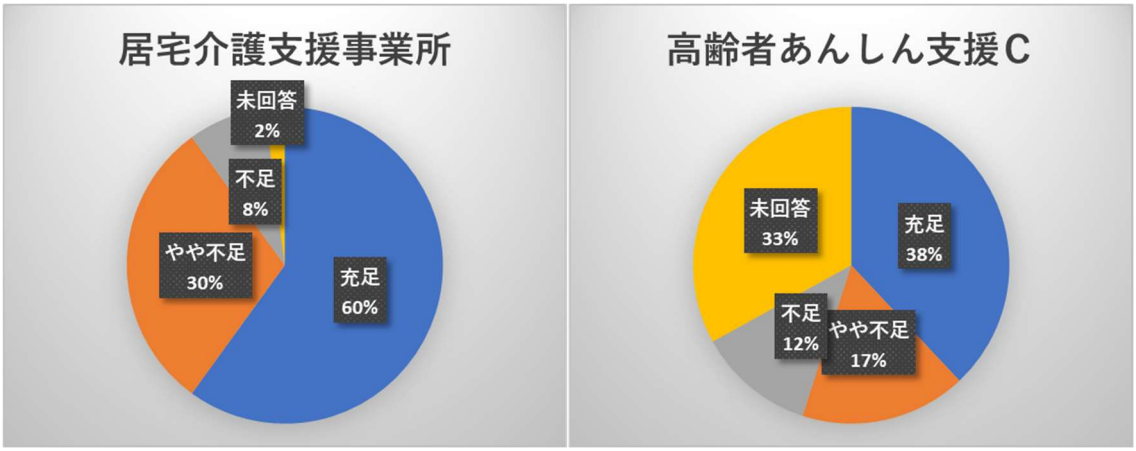
【居宅介護支援事業所】

圏域	主な意見等
第三	・鳶巣地区で利用を希望されても、近くにない為サービスを受ける事が出来ない。
河南	・市内西部に 3 事業所あるが、定員に達していたり、人材不足により断られることが多い。
佐田	・佐田地域は提供範囲外で利用ができない。
湖陵	・地区に 1 ヶ所事業所はあるが、空きがないことが多い。空きが出た場合には遂次連絡がある。
斐川東	・斐川東地区にはないため、斐川東地区にも整備して欲しい。
全体	・事業所数はある程度あると思うが、小規模多機能を検討するような状況になると、比較的安価な施設に入居の運びとなることがある。 ・訪問サービスの体制が弱い。用具が多い方、医療系サービスが必要な方は限度額の問題に突き当たる。 ・空きがあっても遠距離のため受け入れてもらえないことがある。 ・事業所はあるが、職員数が少ないためか、利用日の限定がある。

【高齢者あんしん支援センター】

圏域	主な意見等
第三	・鳶巣地区は訪問してもらえる事業所が少ない。
南	・南地区全体的に訪問してもらえる事業所が少ない。
光	・鰐淵や北浜地域には以前はあったが、現在は休止中。希望があっても移行できない。
佐田 多伎	・佐田・多伎は、サービス利用ができない。
大社	・要支援で利用できる事業所は、大社地域にはない。
全体	・要支援での受け入れ事業所少ない。

●認知症対応型共同生活介護



○サービス供給の過不足についての意見

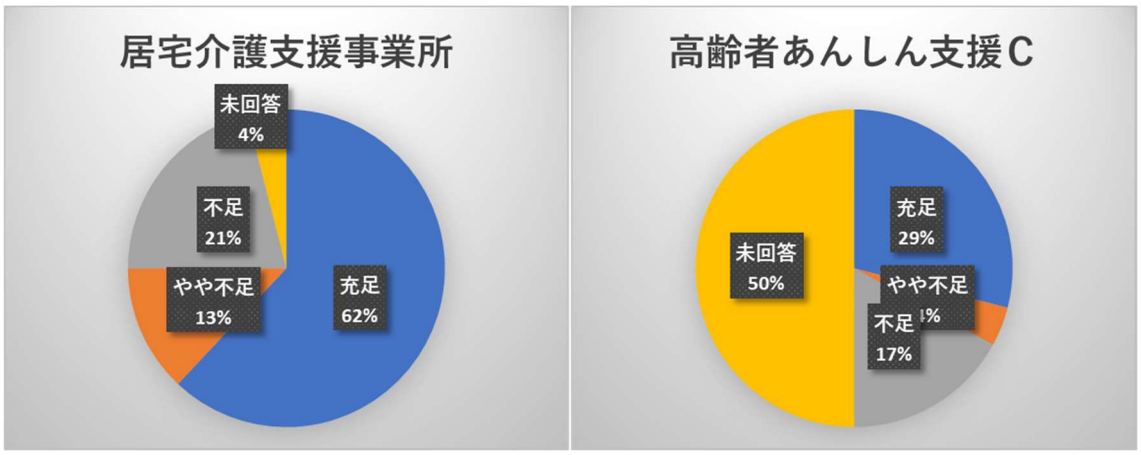
【居宅介護支援事業所】

圏域	主な意見等
平田	・平田地域で、近年、休止をする事業所がある。
全体	・人気のところは常に待機者が多いですが、選ばなければ空いているところがある印象です。 ・事業所はあると思うが、定員に達していたり人材不足により断られる。 ・待機者もあり、全地域で不足していると思う。 ・入所料金が高いため国民年金では入れない。生活保護の方が入れる施設が少ない。

【高齢者あんしん支援センター】

圏域	主な意見等
全体	・要支援のケースで直接ＧＨに入られるケースは少ない。

●地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護



○サービス供給の過不足についての意見

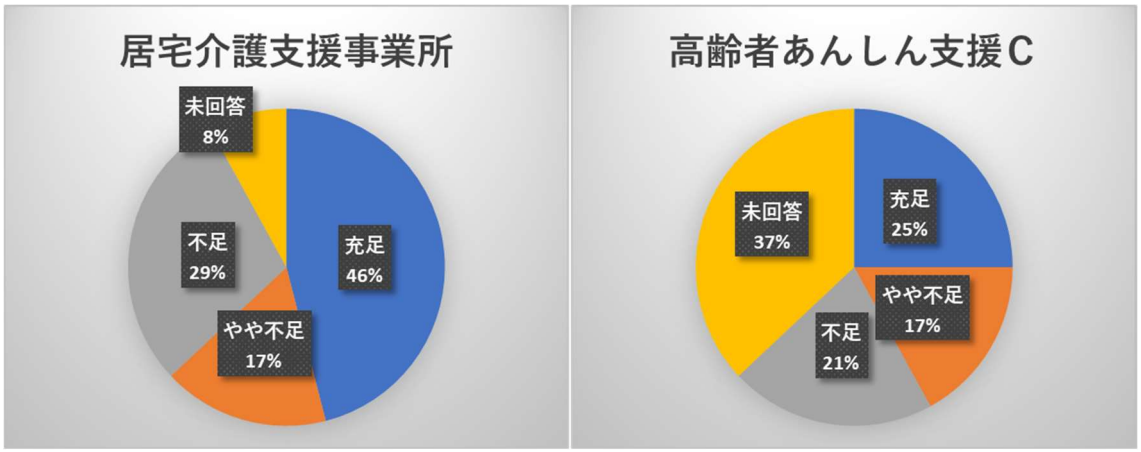
【居宅介護支援事業所】

圏域	主な意見等
全体	・明るく家庭的な雰囲気があり、地域や家族との結びつきを重視した運営がなされるのであれば利用したいと思う。 ・特に困ることはない。 ・待機者もあり、全地域で不足していると思う。 ・利用料金のこともあり、地域密着型ではない介護老人福祉施設入所者生活介護の申し込みされる家族が多い。 ・介護３でも加算の関係で入所を断られる事もある。

【高齢者あんしん支援センター】

圏域	主な意見等
全体	・要支援で利用はできないので、過不足不明。

●看護小規模多機能型居宅介護



○サービス供給の過不足についての意見

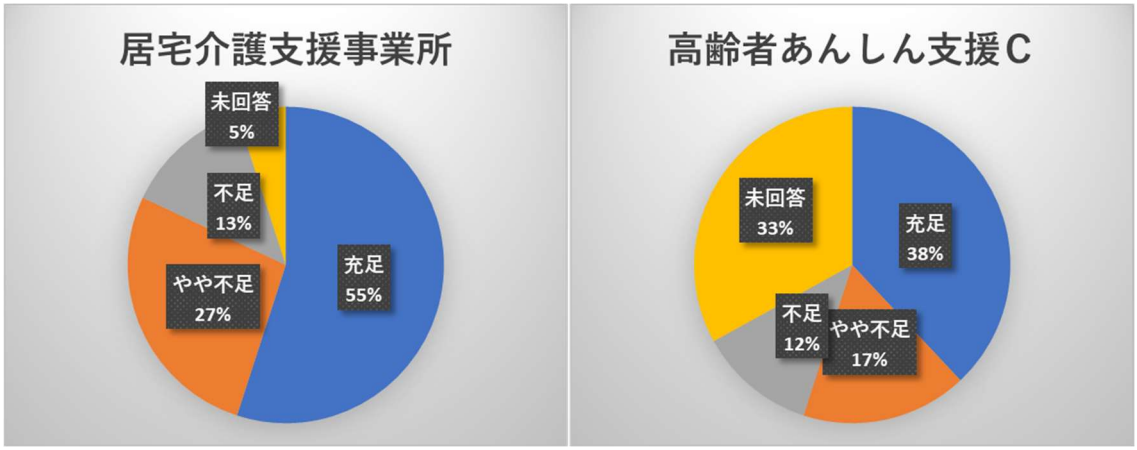
【居宅介護支援事業所】

圏域	主な意見等
全体	・斐川にしかないので不足。吸引がある方等、医療依存度が高い方は小規模多機能だと泊まることが出来ないので、看護付きだと頼みやすい。 ・事業所があれば利用を検討するが、医療が必要な場合は訪問看護で対応している。 ・交通が不便でもある西部にあると安心して暮らせると思う。 ・癌治療の利用者が増えているため、利用できれば選択肢が増えると思う。

【高齢者あんしん支援センター】

圏域	主な意見等
全体	・医療ニーズの高い方が多くなっている。介護的負担から考えると利用がしやすい施設であると思う。

●介護老人福祉施設



○サービス供給の過不足についての意見

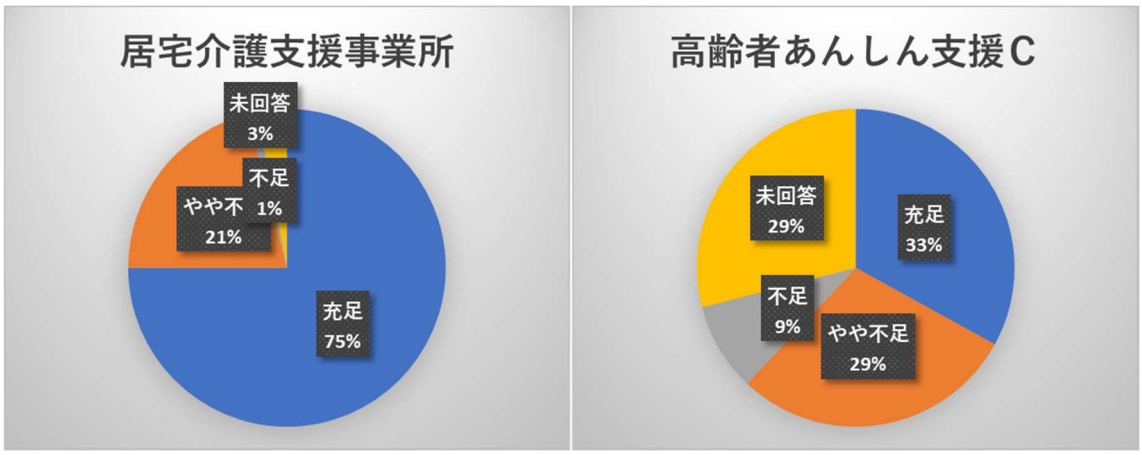
【居宅介護支援事業所】

圏域	主な意見等
全体	・待機者が多く入所しにくい。 ・介護 3 の利用者は全く入所できないが、介護 4 になると 1 年以内に入所できる。 ・多床室の施設が減り、経済的負担を考えると選択肢が限られる状況が増えた。 ・程度によるが、順番は比較的早くなった。

【高齢者あんしん支援センター】

圏域	主な意見等
全体	・要支援で希望される方が少なく、過不足不明。 ・要介護 3 以上にならないと入所できないため、利用することが難しい。

●介護老人保健施設



○サービス供給の過不足についての意見

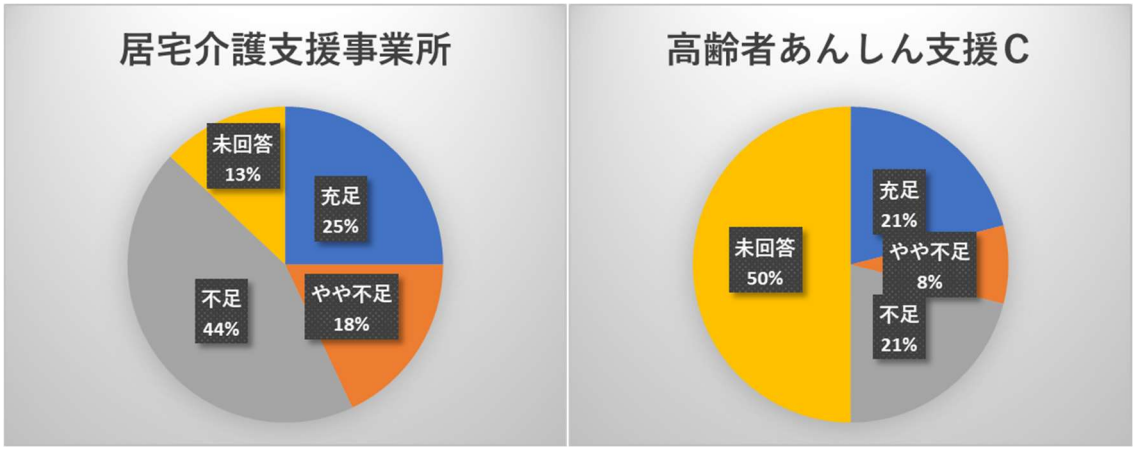
【居宅介護支援事業所】

圏域	主な意見等
全体	・不足を感じない。 ・順番は比較的早く来る。 ・男性部屋が少なく、男性利用者の入所がし難い状況あり。 ・医療依存度の高い方、薬代が高い方を拒否される事が多い。

【高齢者あんしん支援センター】

圏域	主な意見等
全体	・要支援で希望される方が少なく、過不足不明。 ・圏域以外でも入所は比較的利用がしやすいように思われる。

●介護医療院



○サービス供給の過不足についての意見

【居宅介護支援事業所】

圏域	主な意見等
全体	・市内にないため、医療依存度が高い方の受け入れ先がなく、受け入れが可能な有料老人ホームに入所される場合があるが、費用的な負担が大きく、入所が困難な方もいる。 ・少ないとは思いますがこれまで困ったことはありません。 ・対象者も一定数ある思うので、急性期病院の退院後、老健の入所を断られる方などの行き先として必要。

【高齢者あんしん支援センター】

圏域	主な意見等
全体	・入院している病院から転院されるケースが多いのではないかと思える。

第９期計画作成に向けた自由意見（任意）

【居宅介護支援事業所】

種類	意見等
施設整備について	・グループホームが現在１ユニットの施設は経営の観点又、支援方針など基盤があるので増設するといいと思う。職員確保が出来ている施設もあるので、増設を検討して頂けるといいと思う。
	・介護医療院の開設の予定はありますか？定期巡回サービスが地域で支援できれば、自宅で看取れる幅も広がります。
	・医療依存度が高い方が在宅で過ごされるケースが多くなっているが、医療依存度が高い方を受け入れるサービス事業所が少ない為、使えるサービスが限られてしまう場合がある。医療依存度が高い方の受け入れができる体制を整えたり、受け入れ先を増やして欲しい。
	・特別養護老人ホームも空床があるとききますので、施設サービスや居宅系入所サービス（特定施設やグループホーム）の新たな必要性は低いと感じています。
居宅サービスについて	・事業所の開設について、市の指定と県の指定がありなかなか難しいとは思えるが、事業所はできれば圏域に対して計画的に配置ができればいいと思う。
	・事業所の近況として、入所施設ではなく、在宅での療養・看取りが増えてきています。その際に、在宅生活を行う上で、重要な訪問介護、デイサービスの事業所が少ない。デイサービス事業所は重度の方を受け入れる事業所が少ないと思われますので、ご検討お願い致します。
	・訪問介護の需要が増えており、賃金面等も踏まえて充実させていくことが必要と思われます。
	・医療依存度の高い方の入所、ショートステイ先がない。ショートステイ利用時には段階があるが、助成に引っ掛からない方について部屋代と食費の負担がかなりある（個室化が進んでおり、部屋代の負担が増える）。
	・訪問入浴が８期計画では増えなかった。ランニングコストがかかり、元が取れないと聞いたりするため、何か助成があると良いかもしれない。
	・福祉用具購入や住宅改修の作成や書類の提出はケアマネだけではなく、指定された専門業者等、柔軟に対応できるようにお願いしたい。
	・多様な利用者の方がいらっしゃるので、受け入れ拒否をせず、ある程度柔軟に対応をしてくれる事業者等が増えてこないと、地域で支える生活が難しくなってくると思う。
人材不足について	・今後も介護職員の人材不足が続くと思えるが、デイサービスの職員が居宅内の送り出しや迎い入れや送り出しの検討をされているようで今後は必要になってくると思う。
	・介護職員は、定期的に昇給もできる様になってきているのでもっとアピールできる機会があるといい。但し、小規模の事業所はなかなか難しいところがあるので人材に対しての補助があるといいと希望する。
	・事業所が不足というより、働くスタッフが居ないので、受けれないという現状があると感じています。事業所の数より、働き手の確保が必要かと。
	・施設が存在しても職員がいないため受け入れできていない施設があります。施設側の問題もあろうかと思いますが、人材確保に向けた取り組みが必要だと思います。

種類	意見等
ケアマネジャーについて	・出雲市内のケアマネジャーの将来が心配です。ケアマネジャーの高齢化２０～３０歳代のケアマネジャーをほとんど見ません。
	・ケアマネジャーはマネジメントをする魅力ある仕事ではありますが、「大変」「精神的にまいってしまう」といった介護現場にいる介護士からよく聞きます。まずは現場でマネジメントをしている自分たちが魅力を発信していかないといけないと思いますが、協力いただくと喜びます。
	・ケアマネの処遇改善（出雲市独自で行い国へ提案して頂きたい。）
	・ケアマネの居宅支援費が据え置きなので、職員の待遇が改善しない。
	・入院してからの在院期間が短くなっているため、退院後のサービス調整にかかる期間も短く、急を要することも多いため、病院の相談員やケアマネにかかる負担が大きくなっている。十分に回復されずに退院されることも多いため、回復期や地域包括病棟へ転院がしやすくなる仕組みや、医療連携が十分に行えるような仕組み作りをして欲しい。
	・ケアマネジャーの書類作成に関わる負担を軽減してもらいたい。申請書など、電送できるようにして欲しい。
その他	・介護が必要になるまでの健康寿命を延ばせるように、高齢者が働ける機会や場所づくり、地域の介護予防教室、生きがいづくりの支援等の介護予防施策の充実を図って欲しい。
	・ケアハウスに入所した際に施設内のサービス事業所しか利用できない事業所がある。コロナウイルス感染予防の名目であったが現在も施設から許可が下りない状況のところもある。利用者にとって不利益にならないように是正して頂きたい。
	・生活支援サービスと移動支援の充実。高齢者の通院、買い物等の移動支援が欠かせない。国民年金生活者はタクシーの利用ができない。安価で確実な移送サービスが必要。
	・山間地域や大社、平田の海側など、いわゆる過疎地域では医療、介護だけでなく、一般的な社会資源も少なくなり生活が難しくなってきています。その様な地域では若い世代が家を出てしまい高齢者世帯が多く、徐々に人口も減少していますので互助も難しい状況です。その様な地域に対しての支援策を考えて頂けると良いと思います。
	・現在不足分の確認も必要だが、この先5年10年の事業所運営ができる状況なのか状況把握も必要であるのではないか。人材不足、スタッフの高齢化もあり、先の運営見通しに不安がある。
	・福祉サービス事業者に対する指針の厳しさ。施設は出来てもなり手がいない為、なり手を増やす取り組みがない。魅力等だけではなく優遇や高齢者福祉課との顔の見える関係づくりをして頂き、私たち地域の福祉関係者が何を思いやっているか知ってもらいたい。
	・令和４年度には、通所介護事業所が急に閉所になるということが年度初めと終わり頃にありました。それぞれ経営が難しくなったということでお聞きしています。経営に関しては、それぞれの事業所の考え方であったり節減できるところの努力も必要かと思いますが…。同じ土俵でがんばっていた事業所がなくなるのはさみしく思います。運営と経営に関する研修がいち介護士さんとかにもあると良いかもしれません（報酬は制度で決められた額でしかありませんが、給料が安いとしか言えない人が多く存在するのもまた事実です）。
	・制度自体の継続が今後も課題になっていると思います。利用者の負担割合増等も今後必要になっていくかと思います。ケアマネジャーの有償化も毎回議論に上がります。持続可能な制度となるように今後も議論していきたいと思います。

	・虐待された方や災害により、住居が倒壊する可能性がある方などの緊急避難できるシェルターが必要ではないかと思う。虐待された方への支援。
	・身寄りのない方の支援（身元保証人や死去後の問題等）。施設入所やサービス利用時などに、身元保証人や何かあった時に動いてくれる方がいないと、契約を渋られたり断られたりする事もある。
	・成年後見人の導入が難しい方の支援。
	・日常生活自立支援事業がもっと柔軟に対応してくれると有難い。なかなか、利用のハードルが高いし、四角四面の対応が多い。契約が理解できる方が前提だが、そもそもそういう方は必要がない様に思ったりする。

【出雲高齢者あんしん支援センター】

種類	意見等
施設整備について	・介護保険施設の整備はだんだん充実してきていると思われる。有料老人ホームが増えてきているため利用はしやすくなってきている。
居宅サービスについて	・要支援とういうことで、受け入れができない事業所が多いことやデイで受け入れはできても、入浴ができないと言われることが多い。サービスが受け入れやすくなるとよいと思います。
	・南部地域は遠方のため、通所や訪問も利用を断れることがあります。
人材不足について	・介護施設の職員が不足傾向にあると思われる。色々な施設がありわかりにくい。それぞれの特色がわかるようにして行けれるとよい。
	・佐田のやまゆり苑、多伎の潮風苑の職員が不足していることを耳にします。介護職員を募集しても集まらないと思いますが何かやまゆり苑、潮風苑に対して支援ができないものかと感じています。
ケアマネジャーについて	・佐田多伎湖陵地域については、サービスはもとよりケアマネ事業所も選択肢が乏しい。一人暮らし世帯や介護者の介護力がひくい場合が多いが、地域のケアマネジャーからは、出雲市内の他の地域に比べ入所を比較的早い段階から選ばれる印象があるとの話もある（Ｒ４年地域ケア個別会議後の聴き取りにて）サービス事業所が全般的に入りにくいことも要因と考えられる。
その他	・身寄りのない方は保証人がいないと、施設だけでなく、デイも断れることがあるので、身寄りのない方も利用がしやすいとよいと思います。
	・外出の困難さがあり、買い物や受診に困るところがある。移送のサービスなどもっと利用しやすくなると良いと思う。